



Beauty For Ashes

GLOBAL DAY OF PRAYER FOR THE ROHINGYA



ロヒンギャの人々を語る時、灰、悲嘆や絶望を語らなければなりません。無国籍の彼らの多くはジェノサイドによってミャンマーから逃避しました。現在バングラデシュ、マレーシア、タイに多くのロヒンギャの人々が住んでいます。彼らはそこで差別、迫害、投獄などの問題に直面しています。十分な医療や教育が受けられず、治安は悪化し、過酷な日々を過ごしているのです。

一見、ロヒンギャの人々には希望がないように見えますが、神は決して彼らを見捨ててはいません。主はずっと彼らを愛し続けてくださっているのです。今ロヒンギャの人々は福音伝道師を通して、神の偉大な愛を聞くことができる土地に住んでいます。神は灰を美しいものへ、悲しみを祝福へ、そして嘆きを賛美へと変えてくださるのです。苦しみには終わりがありますが、神の偉大な愛は永遠です。

ヌルの物語

トラウマはドミノ倒しに似ています。たった一つの倒れたこまが、並んでいる全てのこまを崩すのです。ジェノサイドの恐怖は人々の心に消えない傷跡を残します。一連の非道な行為は次の世代が歩む道を変えてしまうのです。

Nurさんがアメリカへ来た時、彼女はすでに耐え切れない程の苦痛、トラウマによる重荷を背負っていました。彼女は炎に包まれる村から逃げ、マレーシアで無理矢理結婚させられた後、医者や看護師がひどい扱いをする病院で子供を産みました。もう二度と自分の愛した家族とは会えないという思いを抱えながら、彼女はこうした酷い経験をしたのです。

彼女がアメリカに来てから一年も経たないうちにご主人が亡くなり、息子は入院し、彼女の家は焼失しました。彼女は暗闇に支配されていました。ところがそんな中、トラウマケアを行う機関での仕事が決まります。彼女自身のトラウマが仕事に支障をきたすこともありましたが、職場の人々は彼女に寄り添い、医師やボランティアによる助けも提供しました。

私達は彼女の家が火事になる前に彼女と出会い、寄り添い、彼女の所持品を灰の中から探し出しました。この悲劇を機に、私たちの間には友情が生まれました。その後数年の間、家族の死を一緒に乗り越え、子供達の誕生を喜び、市民権が与えられた時には共に喜びました。これらの出来事を通して、私たちの絆は深まりました。そして時間が経つにつれ、Nurさんの目には光が戻ってきました。だんだん

『シオンの中の悲しむ者に喜びを与え、灰にかえて冠を与え、悲しみにかえて喜びの油を与え、憂いの心にかえて、さんびの衣を与えさせるためである。こうして、彼らは義のかしの木となえられ、主がその栄光をあらわすために／植えられた者となえられる。』
(イザヤ61:3)

『これらの事が起りはじめたら、身を起し頭をもたげなさい。あなたがたの救が近づいているのだから』
(ルカ21:28)





と新しいことに挑戦できるようになり、新しい関係も育むことができるようになったのです。彼女は困っている人がいれば手を差し伸べ、その人の力になれる方法を探します。少しずつですが、彼女は人生を再構築しています。

ドミノのこまがひとつ倒れれば、全てが崩れます。でも心と心があれば、壊れてしまった家をまた立て直すことができます。敵による悪意を、神は良いものに変えることができます。神はひとつずつ変えてくれます。そして最高の時はまだこれから来るのです。

共に祈りましょう

- ロヒンギャの人々の霊的な戦いを、我々が彼らと一緒に戦うことへ更なる祈りを捧げてください。
また2028年までに10%のロヒンギャの人々が御国に入れるよう祈ってください。
- パキスタンやサウジアラビアなど福音伝道者がいない地へ、働き人が送られるよう祈ってください。
- 絶望状態にあり、悲嘆しているロヒンギャの人々に祈りを捧げてください。彼らの傷に、トラウマに癒しがもたらされますように。
- 投獄されている人々が解放されるよう祈ってください。心や精神が病んでいる人々もその苦痛から解放されますように。霊的なしがらみに縛られている者が解き放たれますように。
- 心が折れそうになっている人々が勇気づけられ、生きることへの意味、将来への希望を見出すことができますように。御国での永遠の希望、安全、居場所を見つけられるよう祈ってください。
- ロヒンギャの人々が義のかしの木となり、神に栄光が与えられますように。イエスに従うロヒンギャの人々が主との強い関係を維持することができますように。より多くのロヒンギャの人々が主を賛美する日が来ることを祈りましょう。

賛美します

- 彼らの苦しみには終わりが来ることを賛美します。神の救いが近づく中で、ロヒンギャの人々が心から喜び、永遠の喜びを得ることができますように。
- 主がロヒンギャの人々にすでに救いの衣を着せ、義の上衣をまとうせてくださっていることを賛美します。
- 地が芽をいだし、園がまたものを生やすように、主なる神は義と誉とを、もろもろの国の前に、生やされる。(イザヤ61:10)

